

日本福祉大学後援会
第37回 定例総会
議案書

2025年6月7日(土) 11:15~12:00

◆議 事

1. 2024年度事業報告(案)について
2. 2024年度決算(案)について
3. 2025年度事業計画(案)について
4. 2025年度予算(案)について
5. 2025年度役員(案)について

1. 2024年度事業報告（案）について

（1）学生の諸活動への援助

2024 年度の事業計画に基き、コロナ禍によって停滞した学生活動（課外活動、フィールドワーク等）の活発化に向けて、前年度に引き続き、各種支援を行った。

①学生活動支援助成：助成総額 17,517,980 円

様々な学生支援事業に対して助成を行った。学生への褒賞・奨励では、地域貢献活動やスポーツ等で活躍した学生に表彰を行った。

<助成事業一覧>

- ・発災時における安否確認システムの運営費への一部助成：523,000 円
- ・サークル強化育成・公認サークル活性化事業助成：9,000,000 円
- ・サークル・課外活動の各分野で活躍した学生への褒賞・奨励：1,460,000 円
- ・全サークルを対象とした高額備品等購入助成：2,790,000 円
- ・イベント事業への助成（各キャンパスの大学祭等）：2,550,000 円
- ・海外研修・調査奨励事業：164,890 円
- ・語学検定料助成：229,210 円
- ・短期留学助成：800,880 円
- ・文化・スポーツ応援活動事業

②就職指導助成（就職活動支援資料や就職セミナーの開催等）：助成額 2,307,959 円

例年発刊している3年生向けの就職指導冊子「Future Note」と新2年生保護者対象の「親子就活のススメ」、就職指導冊子の購入、CDP 講座の「就職筆記試験のための基礎講座」への助成に加え、CDP 講座受講料補助（1人あたり最大3,000円、3年目）を行った。

③通信教育部助成（通信教育部学生の学習支援）：助成額 700,000 円

通信課程に在学する学生が全国各地で開催する地域学習会の運営経費補助および障害学生向けの情報保障等に対して助成を行った。

④奨学助成（経済援助給付型奨学金の一部として）：助成額 2,000,000 円

大学の独自奨学制度（日本福祉大学経済援助給付奨学金）の一部として助成を行った。

⑤資格取得支援助成（資格取得に際する対策等への支援）：助成額 4,167,050 円

各種国家資格取得のための対策講座に以下のとおり助成を行った。

<助成事業一覧>

- ・健康科学部リハビリテーション学科における国家試験対策支援：518,050 円
- ・社会福祉学部における社会福祉士および精神保健福祉士国家試験の合格率向上に向

けた取り組み：2,619,000 円

- ・看護学部における国家試験対策講座支援：1,030,000 円

《参考：（ ）内は学内新卒合格率》

- ・第 37 回社会福祉士国家試験：新卒合格者 165 名（合格率 68.2%）
通学課程新卒合格者数 全国大学 1 位
- ・第 27 回精神保健福祉士国家試験：新卒合格者 27 名（合格率 90.0%）
- ・第 114 回看護師国家試験：新卒合格者 100 名（合格率 98.0%）
- ・第 60 回理学療法士国家試験：新卒合格者 45 名（合格率 97.8%）
- ・第 60 回作業療法士国家試験：新卒合格者 38 名（合格率 100%）
- ・第 37 回介護福祉士国家試験：新卒合格者 15 名（合格率 100%）

- ⑥フィールドワーク助成（大学と協定を結ぶ団体等と共同で実施するフィールドワーク事業に対する支援）：助成額 1,073,631 円

＜助成事業一覧＞

- ・フィールドワーク（地域連携教育・他職種連携教育）を通じた学びの質向上およびキャリア支援：助成額 367,930 円
- ・辰野町×NFU コミュニティラボ（長野県辰野町でのフィールドワーク）
：助成額 705,701 円

- ⑦特別支援事業（年度途中に大学が計画した学生支援事業や、各学部等からの申請に基づく諸事業に対する助成）：助成額 332,640 円
応募は 1 件で、採択・助成を行った。

＜助成事業一覧＞

- ・学生の防災減災意識向上のための防災・減災カードの更新：332,640 円

（2）会員と大学との交流

昨年度に引き続き、オンラインを活用した就職説明会、保護者懇談会（全学部）を実施し、日本福祉大学社会福祉セミナーも YouTube 配信を行ったが、大学セミナーを対面開催のみとするなど、直接的な交流に比重を移した取り組みも行った。

- ① 6 月 22 日（土）に第 36 回後援会定例総会と後援会幹事会、学園創立 70 周年シンポジウム等を開催し、計 910 名が参加した。後援会幹事会は 12 月 14 日（土）にも開催。
- ② 8 月 3 日（土）保護者会員を対象としたオンライン就職説明会を開催し、計 76 名が参加した。
- ③ 8 月以降、全国各地でセミナーを 7 回（下関、草津、飯田、新潟、四日市、京都、静岡）開催し、計 449 名が参加した。

④ 学部と共同開催の「学部別保護者懇談会」（全学部）に計 438 名が参加した。

- ・ 定例総会時に学園創立 70 周年シンポジウムを開催し、社会福祉セミナーも学園創立 70 周年記念事業としたことなどで、上記①～④の参加は総計 1,873 名となった。

参考：2023 度 2,471 名（うち社会福祉セミナー（東京）1,287 名）、2022 年度 1,511 名

⑤ 法人会員向け事業は、上記①学園創立 70 周年記念シンポジウムとし、単独開催なし。

（３）広報・通信事業

会員への情報発信を目的に、保護者向け情報の掲載・更新を行った。また福祉への理解を深めていただく目的で、『はじめてのふくし』（冊子）の送付を行った。

- ・ 後援会会報誌『エスパシオ』37 号を発刊し、ホームページでの公開を行った。
- ・ 通学課程新入生保護者向け『別冊エスパシオ』37 号を後援会ホームページで公開した。
- ・ 後援会ホームページの充実を図った。
(大学セミナー開催報告、法人会員向けページの更新等)
- ・ 本学が提唱する「ふくし」の広さと奥深さを様々な視点や事例を参考に、わかりやすくまとめた冊子『はじめてのふくし』を会員（新入生保護者）に送付した。

（４）記念品贈呈事業

通学課程の新入生全員に下記の書籍を入学記念品として贈呈した。

- ・ 書籍：『日本の福祉を築いたお坊さん—日本福祉大学を創った鈴木修学上人の物語』（星野貞一郎著、中央法規、2011）

（５）その他

- ①学園創立 70 周年記念事業への協力を目的とした「大学記念事業資金積立金」より 1 億 8 千万円を学園に寄付した。また次の 80 周年に向けて、特別会計（大学記念事業資金積立）に 1,200 万円を積み立てた。

以上

2. 2024年度決算（案）について

【一般会計の部】（単位：円）

収入の部

2024年4月1日～2025年3月31日

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
会 費	61,952,500	63,252,500	△ 1,300,000	普通会員1,412名、法人会員57社
雑 収 入	500	25,011	△ 24,511	利息
前年度繰越金	10,614,090	10,614,090	0	
合 計	72,567,090	73,891,601	△ 1,324,511	

支出の部

2024年4月1日～2025年3月31日

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
1. 運営費	2,200,000	1,982,335	217,665	
1) 役員会費	300,000	223,620	76,380	交通費等
2) 人件費	1,700,000	1,676,180	23,820	事務員給与
3) 印刷費	150,000	23,100	126,900	案内状印刷費等
4) 事務費	50,000	59,435	△ 9,435	振込手数料、郵送代等
2. 事業費	18,100,000	15,659,041	2,440,959	
1) 総会・講演会費	6,000,000	5,902,359	97,641	案内発送、講師料、新聞広告費等
2) 会報費	6,000,000	6,195,215	△ 195,215	会報「エスパシオ」（37号・37号別冊）、「はじめてのふくし」制作費
3) 出版物郵送費	800,000	535,496	264,504	会報「エスパシオ」37号、「はじめてのふくし」郵送費
4) 地域講演会費	5,000,000	3,025,971	1,974,029	大学セミナー会場開催費、社会福祉セミナー開催費、学部別保護者懇談会開催費等
5) 法人向け事業費	300,000	0	300,000	
6) ホームページ制作費	0	0	0	
7) 動画コンテンツ制作費	0	0	0	
3. 助成事業費	34,500,000	28,099,260	6,400,740	
1) 学生活動支援助成費	20,000,000	17,517,980	2,482,020	安否確認システム運営費、サークル強化育成・公認サークル活性化、活躍学生褒賞・奨励、高額備品購入、イベント事業、海外研修・調査奨励事業、語学検定料、短期留学等の助成費
2) 就職指導助成費	3,000,000	2,307,959	692,041	就職支援冊子制作費、CDP講座受講助成等
3) 通信教育部助成費	700,000	700,000	0	通信生スクーリング助成費等
4) 奨学助成費	2,000,000	2,000,000	0	奨学助成費原資の一部
5) 資格取得支援助成費	5,000,000	4,167,050	832,950	資格対策講座受講費等
6) フィールドワーク助成費	800,000	1,073,631	△ 273,631	
7) 特別支援事業費	3,000,000	332,640	2,667,360	年度途中に申請された学生支援事業助成
4. 入学記念品費	1,000,000	1,001,880	△ 1,880	入学記念品購入費
5. 予備費	4,767,090	0	4,767,090	
6. 大学記念事業資金積立	12,000,000	12,000,000	0	大学記念事業資金積立への繰り入れ
7. 特別学生支援事業費	0	0	0	
8. 次年度繰越金	0	15,149,085	△ 15,149,085	
合 計	72,567,090	73,891,601	△ 1,324,511	

【特別会計の部】（単位：円）

①大学記念事業資金積立金

2024年4月1日～2025年3月31日

収入の部

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
前年度繰越金	183,258,819	183,258,819	0	
当年度繰入金	12,000,000	12,000,000	0	
利息収入	2,500	7,947	△ 5,447	
合計	195,261,319	195,266,766	△ 5,447	

支出の部

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
学園70周年記念事業協力金	180,000,000	180,000,000	0	学園への寄付
口座解約後の振込手数料	0	3,520	△ 3,520	
残高証明書発行手数料	1,624	1,624	0	
合計	180,001,624	180,005,144	△ 3,520	

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
次年度繰越金（収入-支出）	15,259,695	15,261,622	△ 1,927	(A)

②特別学生支援助成費

2024年4月1日～2025年3月31日

収入の部

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
前年度繰越金	100,002,875	100,002,875	0	
当年度繰入金	0	0	0	
利息収入	1,500	1,701	△ 201	
合計	100,004,375	100,004,576	△ 201	

支出の部

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
残高証明書発行手数料	550	550	0	
合計	550	550	0	

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
次年度繰越金（収入-支出）	100,003,825	100,004,026	-201	(B)

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
特別会計の部 合計	115,263,520	115,265,648	△ 2,128	(A) + (B)

【2024年度後援会総資産高】（単位：円）

一般会計の部 次年度繰越金	15,149,085
特別会計の部 合計	115,265,648
総 資 産 額	130,414,733

日本福祉大学後援会監査報告書

2025 年 5 月 10 日（土）

日本福祉大学後援会
会長 安 川 彰 吉 殿

監査 各務 元浩

監査 山田 祐輔

日本福祉大学後援会の 2024 年度決算にかかる決算諸表ならびに諸帳票について監査を行いました。

監査の結果、計算書類ならびに諸帳票は、適正に記録されていることを認めます。

以上、ご報告いたします。

以 上

3. 2025年度事業計画（案）について

学生活動（課外活動、フィールドワーク等）の活発化に向けて、継続してこれらの支援に重きを置く。特別強化指定部、強化支援部を含むサークル全般の活動についても引き続き強化を行う。またフィールドワーク助成や特別支援事業の申請が増えるように働きかけを行う。

最終年度となる、学園創立 70 周年記念事業（2023～2025 年度）と連携して、会員と大学、同窓会との交流促進を行う。

1) 学生の諸活動への援助

(1) 学生への助成事業

①学生活動支援助成

- ・発災時における安否確認システムの運営費への一部助成
- ・サークル強化育成・公認サークル活性化事業助成
- ・サークル・課外活動の各分野で活躍した学生への褒賞・奨励
- ・全サークルを対象とした高額備品購入助成
- ・イベント事業への助成（各キャンパスでの大学祭等）
- ・海外研修・調査奨励事業（オンラインを含む）への助成
- ・語学検定料助成
- ・短期留学（オンラインを含む）助成
- ・文化・スポーツ応援活動事業への助成（学生同士が互いに応援し、励ましあう文化を醸成できるよう、活動報告会をはじめとしたイベント等への経費援助）

②就職指導助成

- ・就職活動支援資料助成
- ・CDP（キャリアデベロップメントプログラム）講座受講料の割引（1 人 3 千円の助成）

③通信教育部助成（地域学習会をはじめ障害学生用テキストデータの作成等）

④奨学助成（経済援助給付型奨学金の一部として）

⑤資格取得支援助成（資格取得に際する対策等への支援）

⑥フィールドワーク助成（大学と協定を結ぶ団体等と共同で実施するフィールドワーク事業に対する支援）

⑦特別支援事業（年度途中に大学が計画した学部横断的な学生支援事業に基づく諸事業に対して、弾力的な援助を行う）

(2) 大学と共催で学生活動支援助成事業贈呈式を開催する（12 月 6 日（土）開催予定）。

2) 会員と大学との交流

(1) 後援会幹事会（6 月 7 日（土）および 12 月 6 日（土）予定）の開催

(2) 後援会第 37 回定例総会（6 月 7 日（土））の開催

(3) 2025 年度日本福祉大学後援会実施事業一覧（大学セミナー等）

開催日	開催地	テーマ	講師等
6月7日 (土)	愛知県 名古屋市	“Well-being for All”の実現に向けて ～ふくしイノベーションとテクノロジー～	垣内俊哉 氏 (株式会社ミライロ 代表取締役社長)
7月27日 (日)	オンライン	日本福祉大学の就職支援・制度 紹介セミナー	曾我部敦介 就職部長
8月30日 (土)	岩手県 盛岡市	認知症の人の災害時支援から「地域記憶」を用いた地域づくりへー「地産地消型認知症ケアモデル」への挑戦ー	伊藤美智予 准教授
9月27日 (土)	愛媛県 松山市	その接客に「倫理」はあるか？ ——対人サービスと自己形成の社会学	原田忠直 教授
10月4日 (土)	長野県 伊那市	人が集まる地域とは？～伊那市を元気にするためのヒントを皆で考えよう～	コーディネーター 坂口大史 准教授 宮國康弘 講師
10月11日 (土)	広島県 広島市	本当のインクルーシブ教育とは何か	藤井啓之 教授
10月13日 (月・祝)	富山県 富山市	ダウン症の娘（こ）と共に生きて ー翔子とのこれまで歩みー	金澤泰子 客員教授 金澤翔子 客員准教授
10月25日 (土)	熊本県 熊本市	一緒に楽しむスポーツの力 ～ユニバーサルスポーツがつなぐ人と社会～	兒玉友 准教授
11月30日 (日)	鳥取県 米子市	第37回 日本福祉大学社会福祉セミナー in 鳥取「とっとり×☆＝自分らしさ」 第1部（トークショー）：挑戦と多様性で切り開く世界 第2部（パネルディスカッション）：地域とつながる私 ～生まれる自分発見 とっとりから～	第1部： イモトアヤコ氏 第2部 三井利仁 教授 (ファシリテーター)

（４）学部別の保護者懇談会等の開催

キャンパス	学部	開催日	開催形式
美浜	社会福祉学部	9月20日（土）AM	対面形式
	教育・心理学部	9月13日（土）AM	対面形式
	スポーツ科学部	9月20日（土）AM	ハイブリッド形式
半田	健康科学部	4月19日（土）AM・PM	ハイブリッド形式
	工学部		
東海	経済学部	9月13日（土）AM・PM	対面形式
	国際学部/国際福祉開発学部	9月20日（土）PM	対面形式
	看護学部	9月20日（土）AM	対面形式

- (5) 法人会員を対象とした事業を実施する。あわせて法人会員の拡充に向けた取り組みを行う。

3) 広報・通信事業

- (1) 後援会会報誌『エスパシオ』を発刊し、後援会ホームページで公開する。
- (2) 通学課程新入生保護者向け学生生活ガイド『別冊エスパシオ』を後援会ホームページで公開する。
- (3) 後援会ホームページの充実
掲載コンテンツ：大学近況報告、保護者向け就職情報の掲載等
- (4) はじめてのふくしの送付
本学が提唱する「ふくし」の広さと奥深さを様々な視点や事例を参考に、分かりやすくまとめた冊子『はじめてのふくし』を会員にお送りし、福祉への理解を深めていただく（新規会員対象）。

4) 記念品贈呈事業

通学課程の新入生全員に下記の入学記念品を贈呈する。

- ・書籍：『日本の福祉を築いたお坊さん—日本福祉大学を創った鈴木修学上人の物語』（星野貞一郎著、中央法規、2011）

5) その他

大学の周年記念事業への協力に向けて、15,000,000 円の積立を行う。

以上

4. 2025年度予算（案）について

【一般会計の部】（単位：円）

収入の部

2025年4月1日～2026年3月31日

項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
会 費	69,712,500	63,252,500	6,460,000	普通会員1,331名、法人会員50社分
雑 収 入	20,000	25,011	△ 5,011	利息
前 年 度 繰 越 金	15,149,085	10,614,090	4,534,995	
合 計	84,881,585	73,891,601	10,989,984	

支出の部

2025年4月1日～2026年3月31日

項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
1. 運営費	2,220,000	1,982,335	237,665	
1) 役員会費	300,000	223,620	76,380	交通費等
2) 人件費	1,700,000	1,676,180	23,820	事務員給与
3) 印刷費	150,000	23,100	126,900	案内状、封筒印刷費等
4) 事務費	70,000	59,435	10,565	振込手数料、事務用品等
2. 事業費	19,300,000	15,659,041	3,640,959	
1) 総会・講演会費	6,500,000	5,902,359	597,641	案内発送、講師料、新聞広告費等
2) 会報費	6,500,000	6,195,215	304,785	会報「エスパシオ」「はじめてのふくし」制作費
3) 出版物郵送費	1,000,000	535,496	464,504	会報「エスパシオ」「はじめてのふくし」郵送費
4) 地域講演会費	5,000,000	3,025,971	1,974,029	大学セミナー会場開催費、社会福祉セミナー開催費、学部別保護者懇談会開催費等
5) 法人会員関連事業費	300,000	0	300,000	
6) ホームページ制作費	0	0	0	(今年度は予算執行予定なし)
7) 動画コンテンツ制作費	0	0	0	(今年度は予算執行予定なし)
3. 助成事業費	40,700,000	28,099,260	12,600,740	
1) 学生活動支援助成費	21,000,000	17,517,980	3,482,020	安否確認システム運営費、サークル強化育成・公認サークル活性化、活躍学生褒賞・奨励、高額備品購入、イベント事業、海外研修・調査奨励事業、語学検定料、短期留学、文化・スポーツ応援活動事業等
2) 就職指導助成費	3,000,000	2,307,959	692,041	就職支援冊子制作費、CDP講座受講助成等
3) 通信教育部助成費	700,000	700,000	0	通信生スクーリング助成費等
4) 奨学助成費	2,000,000	2,000,000	0	奨学助成費原資の一部
5) 資格取得支援助成費	5,000,000	4,167,050	832,950	資格対策講座受講費等
6) フィールドワーク助成費	4,000,000	1,073,631	2,926,369	
7) 特別支援事業費	5,000,000	332,640	4,667,360	年度途中に申請された学生支援事業助成等
4. 入学記念品費	1,200,000	1,001,880	198,120	入学記念品購入費
5. 予備費	6,461,585	0	6,461,585	
6. 大学記念事業資金積立	15,000,000	12,000,000	3,000,000	大学記念事業積立資金への繰り入れ
7. 特別学生支援事業費	0	0	0	(今年度は予算執行予定なし)
8. 次年度繰越金	0	15,149,085	△ 15,149,085	
合 計	84,881,585	73,891,601	10,989,984	

【特別会計の部】（単位：円）

①大学記念事業資金積立金

2025年4月1日～2026年3月31日

収入の部

項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
前年度繰越金	15,261,622	183,258,819	△ 167,997,197	
当年度繰入金	15,000,000	12,000,000	3,000,000	
利息収入	3,750	7,947	△ 4,197	定期預金利息
合計	30,265,372	195,266,766	△ 165,001,394	

支出の部

項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
学園70周年記念事業協力金	0	180,000,000	△ 180,000,000	次回は学園創立80周年時の予定
口座解約後の振込手数料	0	3,520	△ 3,520	
残高証明書発行手数料	1,624	1,624	0	
合計	1,624	180,005,144	△ 180,003,520	

項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
大学記念事業資金積立金 合計	30,263,748	15,261,622	15,002,126 (A)	

②特別学生支援助成費

2025年4月1日～2026年3月31日

収入の部

項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
前年度繰越金	100,004,026	100,002,875	1,151	
当年度繰入金	0	0	0	
利息収入	25,000	1,701	23,299	普通預金利息＋定期預金利息
合計	100,029,026	100,004,576	24,450	

支出の部

項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
残高証明書発行手数料	550	550	0	
合計	550	550	0	

項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
特別学生支援助成費 合計	100,028,476	100,004,026	24,450 (B)	

項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
特別会計の部 合計	130,292,224	115,265,648	15,026,576 (A)+(B)	

【2025年度後援会総資産高】（単位：円）

一般会計の部 次年度繰越金	0
特別会計の部 合計	130,292,224
総 資 産 額	130,292,224

5. 2025年度役員（案）について

本会会則第5条、第6条及び第8条に基づき役員の改選を以下の通り提案する。

1) 退任役員

副会長	後藤 明朗	保護者
幹 事	福田 淳一	保護者
幹 事	廣川 和美	保護者
幹 事	花井 智 ※	保護者
幹 事	御厨 麻紀子 ※	保護者
監 査	各務 元浩 ※	保護者

※役職の異動

2) 新任役員

副会長	宮木 正彦	ブラザー工業株式会社 取締役 元株式会社デンソー 代表取締役副社長 元株式会社豊田中央研究所 代表取締役副会長
副会長	花井 智 ※	保護者
幹 事	各務 元浩 ※	保護者
幹 事	近本 康弘	保護者
幹 事	榊原 康博	保護者
幹 事	定 雅博	保護者
幹 事	間島 大心	保護者
幹 事	榊原 寛司	保護者
幹 事	寺村 和政	保護者
幹 事	松村 奈津子	保護者
幹 事	榊原 英夫	保護者
監 査	御厨 麻紀子 ※	保護者

※役職の異動

3) 2025 年度役員一覧

会長	安川 彰吉	元愛知製鋼株式会社 取締役会長	留任
副会長	榊原 康弘	半田商工会議所 顧問	留任
副会長	安藤 直樹	名古屋鉄道株式会社 常務執行役員	留任
副会長	宮木 正彦	ブラザー工業株式会社 取締役 元株式会社デンソー 代表取締役副社長 元株式会社豊田中央研究所 代表取締役副会長	新任
副会長	森田 美奈子	保護者	留任

副会長	花井 智	保護者	新任 ※
幹 事	各務 元浩	保護者	新任 ※
幹 事	福田 仁志	保護者	留任
幹 事	臼井 邦彰	保護者	留任
幹 事	山本 るりこ	保護者	留任
幹 事	樋口 敏朗	保護者	留任
幹 事	尾崎 祐子	保護者	留任
幹 事	後藤 武志	保護者	留任
幹 事	加藤 京子	保護者	留任
幹 事	岩田 律子	保護者	留任
幹 事	梶田 明敬	保護者	留任
幹 事	山野井 陵子	保護者	留任
幹 事	岡元 愛	保護者	留任
幹 事	羽田 ゆき	保護者	留任
幹 事	佐々木 みづき	保護者	留任
幹 事	岩田 浩希	保護者	留任
幹 事	河竹 貴子	保護者	留任
幹 事	浅井 紳一郎	保護者	留任
幹 事	亀井 三千	保護者	留任
幹 事	榊原 由子	保護者	留任
幹 事	梶田 麻子	保護者	留任
幹 事	近本 康弘	保護者	新任
幹 事	榊原 康博	保護者	新任
幹 事	定 雅博	保護者	新任
幹 事	間島 大心	保護者	新任
幹 事	榊原 寛司	保護者	新任
幹 事	寺村 和政	保護者	新任
幹 事	松村 奈津子	保護者	新任
幹 事	榊原 英夫	保護者	新任
幹 事	小松 理佐子	日本福祉大学教職員	留任
幹 事	大口 将	日本福祉大学教職員	留任
幹 事	亀山 哲也	日本福祉大学教職員	留任
監 査	山田 祐輔	保護者	留任
監 査	御厨 麻紀子	保護者	新任 ※
相談役	鴻池 一季	元株式会社鴻池組名誉会長	留任

※役職異動

日本福祉大学後援会会則

第1章 総則

第1条

本会は、日本福祉大学後援会と称し事務局を日本福祉大学研究本館内に置く。

2 本会は、必要に応じ地方に支部を置くことができる。

第2章 目的及び事業

第2条

本会は、日本福祉大学の教育と研究活動に対する後援・援助及び文化的諸事業等をととして、大学の充実・発展を図り、もって我が国の文化の向上に寄与することを目的とする。

第3条

本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 大学の教育・研究活動への後援
- (2) 学生の諸活動への援助
- (3) 文化的諸事業の実施
- (4) 大学と会員との交流
- (5) その他必要と認められる事業

第3章 組織及び役員

第4条

本会は、本会の趣旨に賛同した次の会員をもって組織する。

- (1) 普通会員
 - ① 普通会員会費を納入した学生の保護者
 - ② 普通会員会費を納入したその他の者
- (2) 法人会員 法人会員会費を納入した者
- (3) 特別会員 本会の事業に対して、専門的な協力を行う者
- (4) 賛助会員 寄付金等により本会を援助した者

第5条

本会に次の役員等を置く。

- (1) 会長 / 1名
- (2) 副会長 / 若干名

- (3) 幹事 / 若干名
- (4) 監査 / 2 名
- (5) 支部長 / 各支部に 1 名
- (6) 相談役 / 若干名
- (7) 顧問 / 若干名
- (8) 事務局長 / 1 名

2 前項第 1 号から第 4 号の者をもって役員とする。

3 本会に名誉会長をおくことができる。

第 6 条

役員等は普通会員・法人会員・特別会員の中から選任する。

2 役員等の選任は、次の方法による。

- (1) 会長、副会長、幹事及び監査は、総会において選任する。
- (2) 名誉会長は、会長が委嘱する。
- (3) 相談役及び顧問は、会長が委嘱する。
- (4) 支部長は、会長が委嘱する。
- (5) 事務局長は、会長が任命する。

3 前第 1 項及び前第 2 項にかかわらず、会長は総会の承認をへて大学教職員の中から 3 名程度を幹事に委嘱することができる。

第 7 条

役員等の任務は次の通りとする。

- (1) 会長は、本会を代表し、定例総会、臨時総会、幹事会を招集し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代理する。
- (3) 幹事は、正副会長とともに本会の事業の企画・遂行に必要な立案並びに処理にあたる。
- (4) 監査は、本会の会計監査にあたる。
- (5) 支部長は、地方会員の連絡にあたり、本会の事業に協力する。
- (6) 相談役は、本会への助言等にあたる。
- (7) 顧問は、会長の諸問に応じる。
- (8) 事務局長は、会長の命を受け、事務を統括する。

第 8 条

役員等の任期は 1 年とする。但し、再任をさまたげない。

第 4 章 会議

第 9 条

本会の会議は、定例総会、臨時総会、幹事会の 3 種とする。

- (1) 定例総会は、毎年 1 回春季に開催し、会計・会務の報告、予算の承認、役員の選出、その他必要な事項を付議決定する。
- (2) 臨時総会は、会長が必要と認めた場合、又は会員の 3 分の 1 の申し出がある場合、臨時開催する。
- (3) 幹事会は、第 5 条第 1 号から第 3 号の者をもって構成し、必要に応じて開催する。

第 10 条

議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。但し、会則の改正は、総会出席者の 3 分の 2 以上の同意を要する。

第 5 章 会計

第 11 条

本会の経費は、会費、寄付金及び資産から生じる果実をもってあてる。

第 12 条

本会の会費は、次のとおりとする。

(1) 普通会員

① 第 4 条(1)①に該当する会員

在学中分	50,000 円
2 年次編入学生	37,500 円
3 年次編入学生	25,000 円
通信教育課程	10,000 円

会費は入学手続き時に、一括して納入するものとする。

② 第 4 条(1)②に該当する会員 年額 10,000 円

会費は、年度初めに受け付けるものとする。但し、申し出により随時受け付けることができる。

(2) 法人会員 年額 30,000 円

会費は、年度初めに受け付けるものとする。但し、申し出により随時受け付けることができる。

第 13 条

本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

第 14 条

本会の資金の管理及び処分に関する必要事項は、総会の決議にもとづき 会長が定める。

第 6 章 事務局

第 15 条

本会の業務を処理するために事務局を置く。

2 事務局は、大学に委託する。

第 7 章 会則の撤廃

第 16 条

この会則の改廃は、総会の議を経て行うものとする。

付則

1. この会則は、昭和 63 年 12 月 10 日より制定施行する。
2. この会則は、平成 3 年 6 月 1 日より一部改正施行する。
3. この会則は、平成 4 年 6 月 27 日より一部改正施行する。
4. この会則は、平成 12 年 7 月 1 日より一部改正施行する。
5. この会則は、平成 15 年 7 月 13 日より一部改正施行する。